

平成 25 年 度

管内概要



立佞武多「鹿島大明神と地震鯨」(五所川原市)

青森県西北地域県民局地域整備部

立佞武多

今から約100年前の明治末期、五所川原には高さ20m以上の巨大な人形ねぶたが威勢よく街を練り歩き、賑わいを見せていました。しかし、大正に入り、電気の普及とともにこの巨大ねぶたは姿を消しました。

その後、平成5年に巨大ねぶたの写真と設計図が発見され、平成8年に五所川原市の有志たちにより80年ぶりに巨大ねぶたが復元されました。これが全国的に大きな反響を呼び、五所川原市並びに津軽半島地域の知名度を高め、青森県を代表する夏祭りの一つとなりました。毎年約170万人の見物客が訪れています。

表紙……平成24年の新作立佞武多「鹿嶋大明神と地震鯨」

古(いにしえ)より、日本列島の地下には、大鯨(おおなまず)が潜んでおり、この鯨が暴れることにより地震が起こるものとされていた。平安時代の戯(ぎ)れ歌に、「揺(ゆ)るぐとも よもや抜(ぬ)けじの要石(かなめいし) 鹿島の神のあらん限りは」とある。

常陸(茨城県)の鹿嶋神宮に祀(まつ)られる「鹿嶋大明神 (武(たけ)甕(みか)槌(づち)の神(かみ))」は、神宮の奥の森に地震を起こす鯨の頭を抑える「要石」があることから、昔から地震抑えの神として、厚い信仰を集めている。

決して忘れることのできない平成二十三年三月十一日の「東日本大震災」は、歴史の中でも語り継がれる未曾有の大災害となりました。

多くの尊い犠牲を出した今回の震災により、人類の文明がいかに発達しようとも自然の脅威の前には無力であることを思い知らされました。

この時を生きた我々日本国民は、犠牲になられた方々の為にも、後世にこの震災の教訓を伝えると共に、今こそ一丸となって復興していかなくてはなりません。

この立佞武多は、地震抑えの神として信仰の厚い鹿嶋大明神が要石を以(もつ)て、今まさに鯨に見立てた遍(あまね)く災害を抑え込む場面を表現したものである。

目 次

I. 管内の概要	1
1. 管内のあらまし	2
2. 事業費調べ	3
3. 職員現員表	4
II. おもな事業等	5
1. 道 路	6
2. 河 川	8
3. ダ ム	9
4. 海 岸	10
5. 砂 防	11
6. 急傾斜・地すべり	12
7. 港 湾	14
8. 建 築	15
9. 用地・財産管理	16
奥津軽歴史探訪MAP	17

管内路線図

河川海岸図

I 管内の概要



ミニ白神の紅葉（鱒ヶ沢町）

「ミニ白神」は、鱒ヶ沢町の中心部から南へ車でおよそ30分ほどの黒森地区にあります。

およそ52haのエリアは、人の手が加えられておらず、樹齢200年を越えるブナも見受けられ、白神山地核心部同様の森林景観を保っており、遊歩道も整備されております。

1. 管内のあらまし

平成19年度から西北五地域の県の各出先機関は、地域づくり支援に一層積極的に取り組んでいくため、「西北地域県民局」に統合され、旧五所川原県土整備事務所は地域整備部として、旧鱒ヶ沢県土整備事務所は地域整備部鱒ヶ沢道路河川事業所として、7年目となります。

所管区域は、津軽半島西部から県南西部の秋田県境までの西北五地域であり、面積は約1,795平方キロメートル（県全体の18.6%）、構成市町は五所川原市、つがる市、鱒ヶ沢町、深浦町、板柳町、鶴田町、中泊町の2市5町、人口は約16万人（県全体の11.5%）となっています。

当管内は、ブナの原生林で知られる世界自然遺産「白神山地」、その白神山地に源を發し十三湖に至り日本海に注ぐ、歴史と文化を育んできた母なる川「岩木川」、「青池」をはじめ神秘的な湖沼美を誇る「十二湖」、秋田県境から津軽半島西部の長い海岸線は津軽国定公園として指定されるなど、風光明媚で豊かな自然環境を有しています。

また、遮光器土偶で知られる縄文晩期の「亀ヶ岡遺跡」、中世に一大港湾として栄えた「十三湊遺跡」や、2万8千年前の世界最大級の「出来島海岸の埋没林」、青森ねぶたに次いで県内2番目の入込客数を誇る勇壮な夏祭り「五所川原立佞武多」、昭和の文豪太宰治の生家「斜陽館」など、歴史に彩られた文化遺産にも恵まれ、県内外から訪れる観光客を魅了しています。

さらに、西北地域は、水稲や野菜、果物の栽培、日本海の高産物など、豊富な地域資源を持つとともに、平成22年12月に東北新幹線が全線開業し、平成27年度には北海道新幹線（仮称）奥津軽駅開業が控えているという状況にあります。

このような地域の特性を生かした「食×観」じゃわめく西北地域をめざして、「青森県基本計画未来への挑戦」では、当地域における取組の展開方向として

- ①農林水産業の「6次産業化」（1次×2次×3次）による仕事づくり
- ②2つの新幹線開業を見据えた「観光力」の強化
- ③地域活性化のための産業基盤の強化
- ④環境と産業が融合した資源循環型の地域づくり

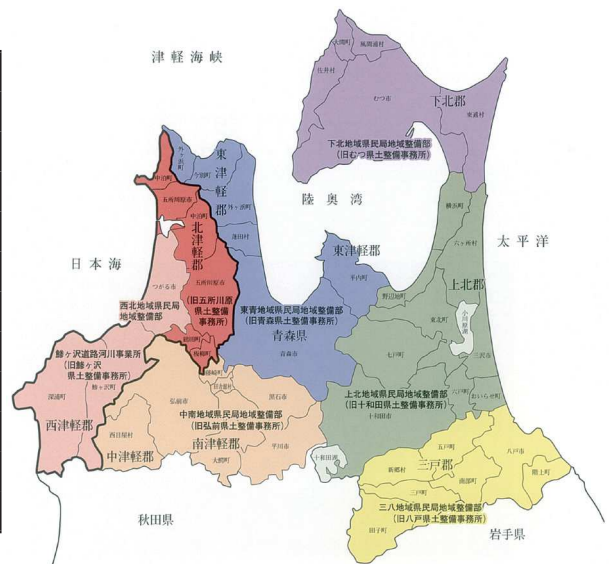
を示しています。

これらの実現には道路交通網の整備や港湾機能の充実、災害に強い河川整備等、社会基盤の整備が不可欠であり、当地域整備部が担う役割は大きなものがあります。

○管内位置図及び管内市町概況

管内	市町	面積	人口
旧五所川原	五所川原市	404.56 km ²	59,604 人
	中泊町	216.33 km ²	12,779 人
	板柳町	41.81 km ²	15,029 人
	鶴田町	46.40 km ²	14,122 人
	計	709.10 km ²	101,534 人
旧鱒ヶ沢	つがる市	253.85 km ²	36,093 人
	鱒ヶ沢町	342.99 km ²	11,519 人
	深浦町	488.86 km ²	9,577 人
計	1,085.70 km ²	57,189 人	
合計		1,794.80 km ²	158,723 人
青森県全体		9,644.55 km ²	1,379,612 人

※人口は平成25年2月の統計による。

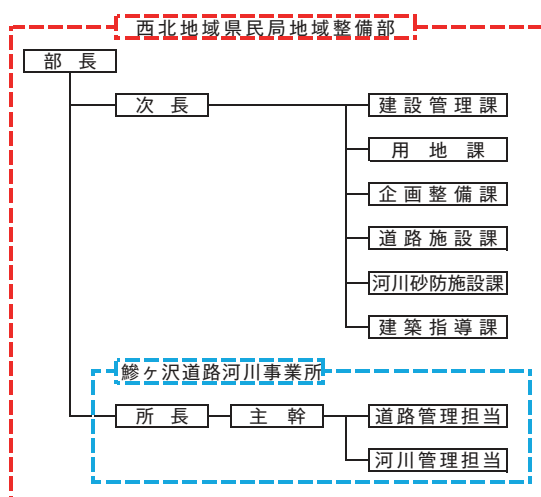


2. 事業費調べ

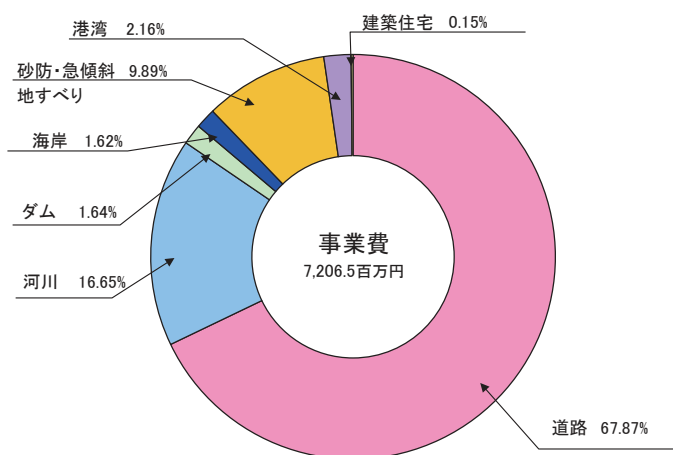
(単位：百万円)

事業別	平成24年度(当初)			平成25年度(当初)			対前年度比 ② / ①
	補助事業	県単事業	合計①	補助事業	県単事業	合計②	
道路	3,095.6	1,428.6	4,524.2	3,488.1	1,403.3	4,891.4	1.08%
河川	867.5	397.6	1,265.1	799.7	400.5	1,200.2	0.95%
ダム	—	83.0	83.0	64.0	54.1	118.1	1.42%
海岸	—	145.0	145.0	—	117.0	117.0	0.81%
砂防・急傾斜地すべり	550.7	245.9	796.6	435.1	277.7	712.8	0.89%
港湾	196.0	42.5	238.5	126.0	30.0	156.0	0.65%
建築住宅	—	14.3	14.3	—	11.0	11.0	0.77%
合計	4,709.8	2,356.9	7,066.7	4,912.9	2,293.6	7,206.5	1.02%

○機構



○平成24年度事業種別構成比



3. 職員現員表

平成25年4月1日現在

区分	一般職											技能職	非常勤							合計					
	課名等	部長	所長	次長	副参事	総括主幹	課長	主幹	主査	主事	技師	主任専門員	専門員	技能技師	計	砂利採石監視員	非常勤事務員	登記嘱託員	道路監視員		河川監視員	ダム監視員	専任当直員		
事務・技術別	(技)	(技)	(専)(技)	(専)(技)	(専)(技)	(専)(技)	(専)(技)	(専)(技)	(技)	(技)	(技)	(専)(技)													
西北地域 民局地域 整備部	部長	1												1									0	1	
	次長													0										0	0
	建設管理課			1		1			2	1				5		1							2	3	8
	用地課					1		3	1	3			2	10	1		2							3	13
	企画整備課			1				1	1			1	1	5		1								1	6
	道路施設課					1		4	5		2		1	13				2						2	15
	河川砂防施設課					1		4	1		3		1	10		1			1	1				3	13
	建築指導課					1		1			2			4										0	4
	計	1	0	2	0	5	0	13	10	4	7	1	5	0	48	1	3	2	2	1	1	2		12	60
鱒ヶ沢道路 河川事業所	所長		1											1										0	1
	道路河川砂防管理担当							1					1	2									4	4	6
	道路管理担当							3				1		4		1		2					3	7	
	河川砂防管理担当							1	2			1		4		1			2				3	7	
	計	0	1	0	0	0	0	5	2	0	0	0	2	1	11	0	2	0	2	2	0	4		10	21
合計	1	1	2	0	5	0	18	12	4	7	1	7	1	59	1	5	2	4	3	1	6		22	81	

Ⅱ おもな事業等



大岩の夕陽（深浦町）

海岸の風景を鮮やかな茜色に染め上げる深浦の夕陽。
海岸沿いの国道からは、見渡す限りの夕陽パノラマを楽しむことができます。

1. 道 路

青森市から五所川原市、鱈ヶ沢町を經由して日本海沿いを南下し、秋田県に至る国道101号と津軽半島を縦断する国道339号の2つの国道を基幹に、鱈ヶ沢蟹田線等の14路線の主要地方道と、58路線の一般県道により構成されており、全体で74路線、総延長約784kmを管理しています。

〈管内の道路ネットワーク整備について〉

◆整備方針

「奥津軽」と称される西北地域は、世界自然遺産白神山地や秋田県境から津軽半島に至る西海岸（津軽国定公園）など風光明媚で豊かな自然環境、及び多くの文化遺産を有していることから、この奥津軽の「観光力」強化を推進するとともに、地域の産業、経済、医療を支援する広域道路ネットワークの形成を図ります。また、東日本大震災でも認識されたように、広域災害時の避難・救援活動、物資輸送のための機能強化を図ります。

1. 津軽自動車道

青森市浪岡（浪岡IC）を起点とし、五所川原市を経て、鱈ヶ沢に至る延長約40kmの自動車専用道路です。このうち青森市浪岡と五所川原市を結ぶ浪岡五所川原道路延長15.7kmは、国道101号の自動車専用道路として、平成3年度に県の事業として着手し、平成5年度からは、権限代行として国土交通省が事業をおこなっています。

平成14年度に供用された浪岡ICから五所川原東IC（五所川原市福山地内）までの延長8.1kmに引き続き、五所川原北IC（五所川原市下平井町）までの延長7.6kmが平成19年12月に供用されました。なお、現在直轄事業として、五所川原西バイパス延長L=3.8km及び鱈ヶ沢道路L=3.7kmについて、用地買収や改良工事、橋梁工等を進めています。

2. 国道101号

青森市浪岡から五所川原市、鱈ヶ沢町等を經由し、日本海沿いに南下する国道101号は、地域住民にとって生命線と言える幹線道路であり、重要な生活道路でもあります。このため、道路利用者の利便性の向上を図るために、鱈ヶ沢バイパス延長7.6kmを平成14年度に供用し、田野沢バイパスは平成17年度延長0.6kmを部分供用し、平成19年度残1.15kmが完成し、全体延長1.75kmが供用されました。

また、追良瀬バイパス第一期工区延長2.4kmも平成19年度に完成し供用されました。引続き平成20年度から、幅員狭小、線形不良、急勾配の隘路区間の解消を図るため、追良瀬バイパス第二期工区延長3.6kmに着手しています。

3. 国道339号

国道339号は、弘前市を起点として、藤崎町、五所川原市、中泊町を經由し、外ヶ浜町で国道280号と接続する、津軽半島を縦貫する幹線道路です。

現在、五所川原市内の円滑な交通の確保と津軽自動車道五所川原ICへのアクセスを目的とした全体延長5.2kmの五所川原北バイパスの建設に平成6年度から着手しています。このうち、起点側の五所川原市街地よりの延長2km区間について、平成19年12月に浪岡五所川原道路に合わせ、同時供用しました。

また、指定以来通行不能区間であった国道339号坂本台～竜飛区間（愛称名「竜泊ライン」）は昭和59年度に一車線で供用開始し、平成12年度には二車線拡幅の整備を完成させ、大型バスの通行も可能になりました。

4. その他の幹線道路

中泊町からつがる市車力を連絡する五所川原車力線については、平成13年度から本県最大の河川「岩木川」を跨ぐ「（仮称）第二津軽大橋」（橋長600m）を含む全体延長6kmのバイパス整備を推進しています。これにより、地形的な制約から遅れている地域間交流の活性化と、津軽半島地域の広域観光圏形成の支援が可能となります。

津軽横断道路は、青森空港から青森市浪岡、板柳町等を經由して、岩木山麓に至る道路として、青森空港から津軽国定公園へのアクセスと沿道市町村間の連携、交流の促進を図ることができる、観光、産業そして生活において重要な道路であります。当該ルートを構成する五所川原岩木線、常海橋銀線等の整備促進を図ることとし、現在、十川を横断する上常海橋～福館工区とJR五能線を跨ぐ掛落林工区の整備を重点的に進めています。

○平成25年度の道路関係事業費

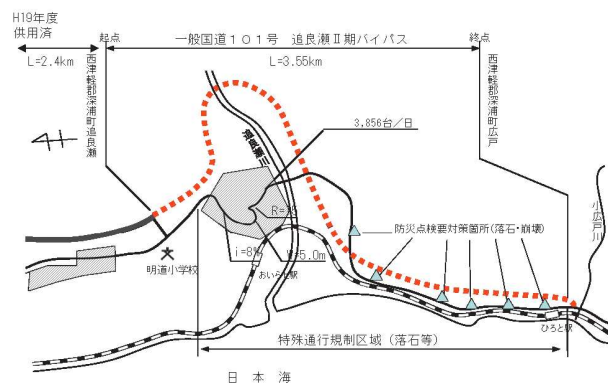
(単位：百万円)

工 種	補 助 事 業	県 単 事 業	計
道 路 改 築	1,835.0	78.6	1,913.6
橋 梁 架 替	0.0	19.4	19.4
交 通 安 全	458.0	466.9	924.9
災 害 防 除・凍 害 防 雪・橋 梁 補 修 等	1,279.1	819.7	2,098.8
合 計	3,572.1	1,384.6	4,956.7

○平成25年度 of 主な道路事業

事業種別	路 線 名	施 工 箇 所	全体延長 (m)	事 業 費 (百万円)	施 工 概 要
国 道 (改 築)	国道101号	深浦町追良瀬	第Ⅱ期 3,600.0	70.0	用地買収 改良工
国 道 (改 築)	国道339号	五所川原市下平井町	5,200.0	130.0	改良工
県 道 (改 築)	五所川原車力線 (仮称：津軽第二大橋)	中泊町福浦～ つがる市車力	6,060.0	800.0	橋梁工・改良工
交 付 金 橋 梁 補 修	持子沢鶴田線 (鶴翔誇線橋)	鶴田町鶴田	90.0	78.0	耐震補強

◆国道101号
(追良瀬Ⅱ期バイパス)



◆五所川原車力線
(仮称：津軽第二大橋)



2. 河 川

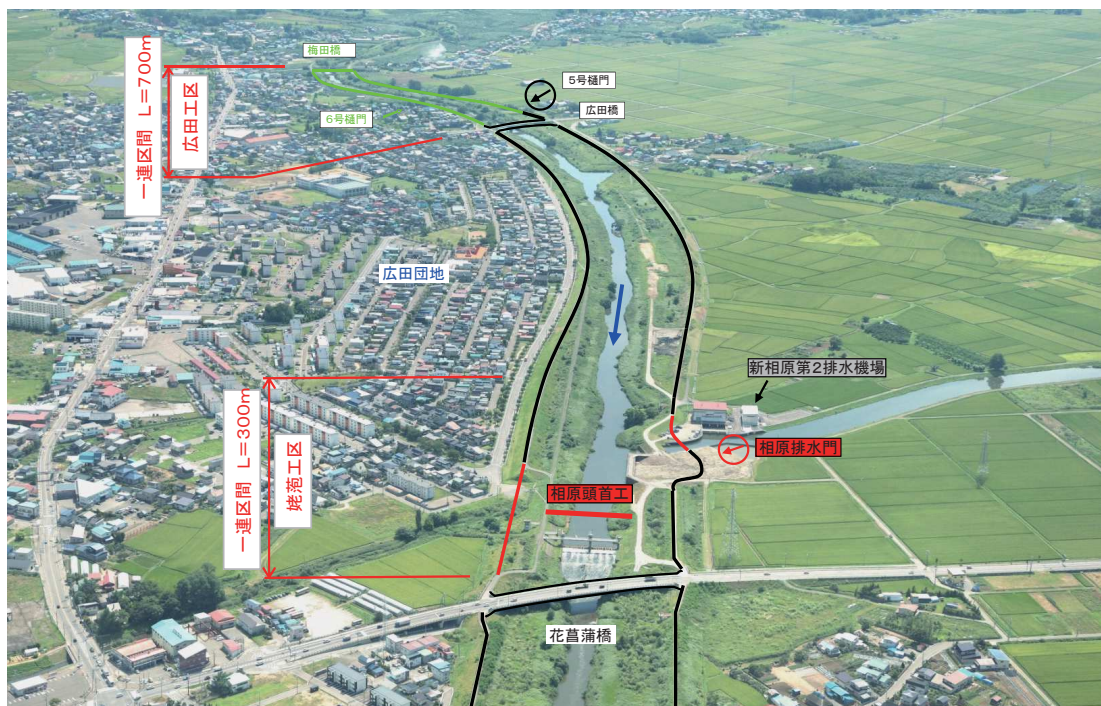
岩木川水系の一級河川十川をはじめとする25河川と、白神山地を源とし日本海にいたる赤石川、笹内川等の26河川の2級河川があり、総延長404.707km（1級河川220.907km、2級河川183.800km）を管理しています。国庫補助事業では安全・安心な地域づくりのための治水安全度の向上にむけた整備を行い、県単独事業では良好な河川環境の維持管理を主に行っております。

○平成25年度補助事業

事業名	河川名	施工場所	事業費(百万円)	実施予定内容
広域河川改修	十 川	五所川原市姥苅	488.1	頭首工,用地、補償
	旧十川	五所川原市川山	100.3	築堤工、調査、設計
	中村川	鯉ヶ沢町舞戸町	237.2	橋梁工・用地補償
計	3ヶ所		825.6	

○平成25年度県単事業

事業名	河川名	施工場所	事業費(百万円)	実施予定内容
河川整備河川改良	薄市川	中泊町薄市	65.0	築堤工、排水樋門工
	相内川	五所川原市相内	80.6	橋梁工・用地補償
	山田川	つがる市車力	109.0	河床掘削外
小計	3ヶ所		254.6	
河川維持	飯詰川外	五所川原市飯詰外	110.0	護岸工外
河床整理	鳥谷川外	中泊町高根外	40.0	河床掘削
河川維持管理	十川外	五所川原市広田外	93.7	樋門・樋管の管理外
河川総合開発	笹内川外	深浦町岩崎外	2.7	流量観測
水防	管内河川		11.4	情報基盤設備点検外
計			257.8	



十川広域河川改修事業（五所川原市）

3. ダム

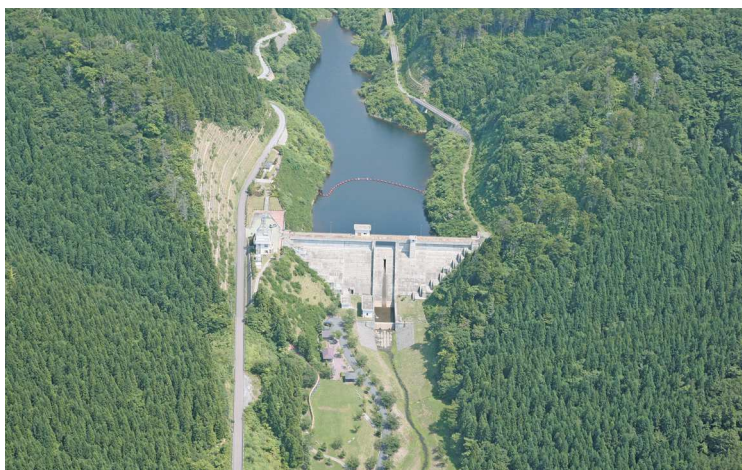
昭和47年に完成した「飯詰ダム」と平成8年に完成した「小泊ダム」の2つのダムを管理しています。洪水調節、既得取水の安定化と環境保全、上水道水の供給を行っています。

○ダム諸元

		飯詰ダム	小泊ダム
位	置	一級河川岩木川水系飯詰川	二級河川小泊川水系小泊川
型	式	中心コア型アースダム	直線重力式コンクリートダム
堤	高	38.0 m	33.5 m
堤	頂長	234.0 m	121.5 m
堤	堆積	241,000 m ³	36,288 m ³
総	貯水容量	2,380,000 m ³	400,000 m ³
有	効貯水容量	2,030,000 m ³	340,000 m ³
集	水面積	11.68 km ²	2.40 km ²
湛	水面積	0.24 km ²	0.0423 km ²
上	水道用水供給量	5,400 m ³ /日（五所川原市）	1,200 m ³ /日（中泊町）
事	業期間	昭和42年度～47年度	昭和63年度～平成8年度
総	事業費	11.6億円	62億円
平成25年度	県単ダム管理費	34.0百万円（ダム管理委託外）	20.1百万円（ダム管理委託外）
平成25年度	公共堰堤改良		66.9百万円（管理設備設計）



飯詰ダム（五所川原市）



小泊ダム（中泊町）

4. 海 岸

市浦海岸をはじめとした22海岸で27,431m（五所川原8,276m、鱒ヶ沢19,155m）を海岸保全区域にしており、海岸浸食事業や海岸環境整備事業などにより整備を継続しています。

○平成25年度県単事業

事業名	海岸名	施工場所	事業費（百万円）	実施予定内容
海岸整備	折腰内海岸外	中泊町折腰内外	30.4	離岸堤嵩上外
	南大間越海岸	深浦町大間越	43.0	人口リーフ
	大和田海岸外	鱒ヶ沢町大和田外	32.0	護岸工補修外
	黒崎海岸	深浦町黒崎	10.0	離岸堤調査設計
計	4ヶ所		115.4	



折腰内海岸（中泊町）



南大間越海岸（深浦町）

5. 砂 防

県内で初めて、平成8年に赤石川支川の築出沢と鮎石沢に砂防ダムを施工して以後、183溪流を砂防指定地告示し、荒廃の著しい溪流や災害が発生した溪流を中心に砂防事業を進めることで、土砂災害防止に努めております。

○平成25年度補助事業

事業名	溪流名	施工場所	事業費(百万円)	実施予定内容
総合流域防災 (砂防)事業	大 菴 沢	中泊町小泊	36.6	本堤工、溪流保全工
	北南中村沢	鯉ヶ沢町中村町	41.8	本堤工、付替道路工
	中 村 沢	鯉ヶ沢町中村町	52.3	用地補償、本堤工、付替道路工
小 計	3ヶ所		130.7	
通常砂防	築 出 沢	鯉ヶ沢町大然	56.7	現場打吹付法砕工
	津 軽 沢	中泊町小泊	49.4	溪流保全工
	大 山 下 沢	深浦町追良瀬	10.5	調査・設計
	玉 坂 川	深浦町玉坂	47.0	本堤工、県道付替道路工
	郷 沢 川	深浦町柳田	62.7	用地・補償、工所用道路工
小 計	5ヶ所		226.3	
計			357.0	

○平成25年度県単事業

事業名	溪流名	施工場所	事業費(百万円)	実施予定内容
砂防維持調査	下 前 外	中泊町下前外	13.1	地すべり観測システム点検外
砂防整備(自然災)	大 菴 沢 外	中泊町小泊外	23.0	用地測量・補償外
砂防整備(一般)	赤 石 川 外	鯉ヶ沢町一ツ森町外	95.0	魚道工外
計	3ヶ所		131.1	



平成22年完成 吉花沢1号堰堤(深浦町)

6. 急傾斜・地すべり

1. 急傾斜

地形上の特徴から海岸や河川沿いで背後が急斜面となっている危険な箇所に住家が集中しており、急傾斜地崩壊危険区域指定箇所が134箇所あります。

指定箇所においては、法枠や植生等を用いた法面崩壊防止工事を実施しています。

○平成25年度補助事業

事業名	区域名	施工場所	事業費(百万円)	実施予定内容
総流防急傾斜地崩壊対策	万年坂	深浦町深浦	41.8	補償・現場打吹付法枠工
計	1ヶ所		41.8	

○平成25年度県単事業

事業名	区域名	施工場所	事業費(百万円)	実施予定内容
急傾斜地対策	玉坂2号	深浦町岩崎	16.9	現場打吹付法枠工、測量、設計
	小泊2号	中泊町小泊	26.4	〃 〃 〃
	唐崎2号	中泊町今泉	16.2	プレキャスト法枠工
	富菴	つがる市富菴	7.4	〃
	新坂	深浦町深浦	3.2	モルタル吹付け工
計	5ヶ所		70.1	



平成19年度完成
浜町2号区域急傾斜地
崩壊対策事業(深浦町)



平成23年度完成
玉清水区域急傾斜地
崩壊対策事業(中泊町)

2. 地すべり

地すべりにより形成された傾斜地における集落では、豪雨や融雪等により断続的に地すべり災害を繰り返してきました。地すべり防止区域として指定告示した6区域では、法面工や排水ボーリング等の抑止工事を実施しています。

○平成25年度補助事業

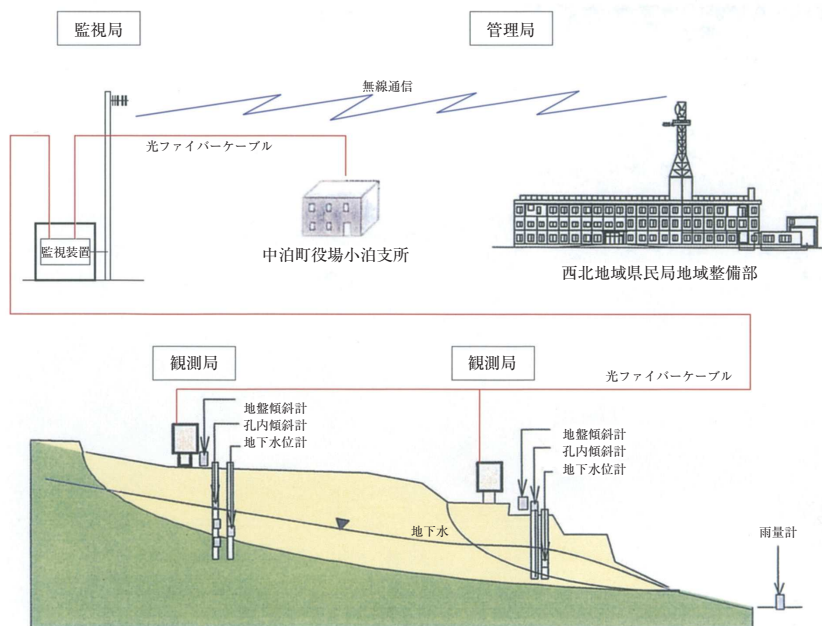
事業名	区域名	施工場所	事業費(百万円)	実施予定内容
総流防地すべり対策	大山長根	中泊町大山長根	35.0	排水ボーリング
計	1ヶ所		35.0	



大山長根区域総流防地すべり対策事業（中泊町）



下前地区
情報基盤緊急整備事業
平成23年度完成（中泊町）



下前地すべり
自動観測システム
概略図

7. 港 湾

1. 深浦港

深浦港は、古くは江戸時代、津軽藩の貿易主要港として栄えた歴史ある地方港湾です。昭和26年には避難港に指定され、以来主に日本海沖合航行船舶の退避を目的とした防波堤及び泊地の整備が進められてきました。また、周辺海域は優れた漁場であり、当地の主要産業である漁業の振興を図るため、物揚場等の整備も行っています。

2. 七里長浜港

七里長浜港は、十三湖から続く砂丘地帯の南側に位置し、津軽地域総合開発の拠点港として昭和58年に着手し、平成9年より一部供用開始しました。津軽地域から発生する物流需要や、環日本海時代に向けた沿海諸国との貿易に対応するための流通港湾として整備しています。現在は主に建設用資材としての砂利・砂・石材の移入及び住宅・家具等の建材としての木材の輸移出に利用されています。

また、当港は世界遺産「白神山地」、中世の港「十三湊（とさみなと）」、「弘前城」等津軽地域の観光地へのアクセスが容易な位置にあることから、大型旅客船が観光クルーズで入港している港でもあります。

○平成25年度補助事業

事業名	港湾名	施工場所	事業費(百万円)	実施予定内容
港湾既存施設有効活用促進	深浦港	深浦町深浦	0.0	H26岸壁(-4.5)エプロン
港湾地域再生基盤強化	七里長浜港	鯨ヶ沢町鳴沢	126.0	防波堤
計	2ヶ所		126.0	

○平成25年度県単事業

事業名	港湾名	施工場所	事業費(百万円)	実施予定内容
港湾整備	深浦港	深浦町深浦	4.6	維持浚渫
	七里長浜港	鯨ヶ沢町北浮田町	25.5	維持浚渫
計	2ヶ所		30.1	



深浦港（深浦町）



賑わう深浦港岡崎地区



七里長浜港（鯨ヶ沢町）



七里長浜港に接岸した「にっぽん丸」

8. 建 築

1. 建築基準法に関する仕事

建築基準法第6条他の規定により『建築主は建築物（法第6条第1項第1号から第4号）を建築する場合、又は工作物及び建築設備を設置する場合、工事に着手する前に、その計画が建築基準関係規定に適合するものであることについて、確認の申請書を提出して建築主事の確認を受けなければならない。』ことになっています。

○平成24年度建築確認申請件数

管内市町	五所川原市	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町	板柳町	鶴田町	中泊町	計
申請件数	132	21	9	4	10	13	1	190

2. 公営住宅法に関する仕事

市町が公営住宅を建設する場合、その住宅が公営住宅法の基準に適合していることを確認します。

3. 県営住宅に関する仕事

西北地域県民局地域整備部管内の県営住宅は、松島団地、新宮団地、広田団地の3団地398戸で、いずれも五所川原市内にあります。

これらの県営住宅の管理は、指定管理者制度の導入に伴い、平成18年4月1日から県営住宅等指定管理者である「株式会社サン・コーポレーション」が実施しています。

団地名	戸数	家賃（月額）	住宅の概要
松島団地 （松島町6丁目）	56戸	17,700円～ 31,600円	①平成2～4年度に立替事業で建設 ②建築は鉄筋コンクリート造3階建、3層を2戸で構成するメゾネット形式の共同住宅 ③1階住戸には専用庭がある準設置型住宅 ④住戸は2DK（2タイプ）と3DKの3タイプ ⑤給湯設備完備、階段・浴室の手すりや段差解消等高齢者対策実施
新宮団地 （長橋字広野・若葉3丁目）	102戸 （うち特定公共賃貸住宅5戸）	17,200円～ 35,300円 （特定公共賃貸住宅58,000円）	①平成10～14年度に立替事業で建設 ②建物は木造2階建と平屋が混在する長屋建住宅 ③住戸は平屋（2LDK）と2階建（3LDK）の2タイプ ④給湯設備完備、階段・浴室の手すりや段差解消等高齢者対策実施
広田団地 （みどり町5丁目）	240戸	10,500円～ 20,000円	①昭和51～54年度に建設 ②建築は鉄筋コンクリート造4階・5階建の共同住宅 ③住戸は3Kと3LDKの2タイプ ④給湯設備・浴槽無し（浴室あり）
3団地	398戸		

9. 用地・財産管理

○平成24年度用地取得及び補償実績

(単位：円)

事業別	箇所数	用地費総額	用地買収費			補償費		
			関係人員	地積 (㎡)	金額	補償件数	金額	
補助事業	道路事業	17	238,827,476	25	8,965.80	29,662,559	30	209,164,917
	河川事業	5	191,890,292	16	3,908.34	25,221,466	18	166,668,826
	砂防事業	6	20,434,377	6	3,649.05	1,399,191	12	19,035,186
	地すべり対策事業	0	0	0	0.00	0	0	0
	急傾斜事業	0	0	0	0.00	0	0	0
	計	28	451,152,145	47	16,523.19	56,283,216	60	394,868,929
単業	道路事業	14	26,221,577	8	1,895.18	6,261,614	21	19,959,963
	河川事業	4	31,020,018	2	1,583.78	8,081,910	4	22,938,108
	砂防事業	5	1,340,828	2	206.07	100,418	4	1,240,410
	地すべり対策事業	0	0	0	0.00	0	0	0
	急傾斜事業	0	0	0	0.00	0	0	0
	計	23	58,582,423	12	3,685.03	14,443,942	29	44,138,481
合計	51	509,734,568	59	20,208	70,727,158	89	439,007,410	

○平成24年度使用占用許可等業務状況調

(単位：円)

区分	道路占用許可		河川占用許可		港湾使用許可		土石採取等許可		海岸使用許可		計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
有料	130	37,176,688	111	6,481,811	174	15,410,605	17	689,000	6	153,305	438	59,911,409
無料	174	—	141	—	16	—	0	—	0	—	331	—
計	304	37,176,688	252	6,481,811	190	15,410,605	17	689,000	6	153,305	769	59,911,409

奥津軽歴史探訪MAP

奥津軽エリアは、縄文・亀ヶ岡、中世・十三湊、近世・北前船の歴史遺産など見どころたっぷり！
歴史の風を感じながら、じっくりと巡ってみませんか。

■中世・十三湊 (P.16～)

- 1 柴崎城跡 2 唐川城跡 3 龍興寺跡 (春日内観音堂) 4 山王坊遺跡 (日吉神社) 5 蓮華庵の板碑
- 6 市浦歴史民俗資料館 7 福島城跡 8 十三湊遺跡 9 浜の明神社 (湊神社) 10 中世の水戸口跡
- その他 (P.32～)
- 11 みちのく松陰道 12 徐福の里公園 13 オセドウ貝塚 14 中里城遺跡 15 中泊町博物館

■縄文・亀ヶ岡 (P.10～)

- 16 田小屋野貝塚 17 亀ヶ岡石器時代遺跡 18 木造亀ヶ岡考古資料室 (縄文館)
- 19 縄文住居展示資料館 (カルコ) 20 森田歴史民俗資料館 (石神遺跡)
- その他 (P.32～)
- 21 高山稲荷神社 22 最終氷期埋没林 23 西の高野山弘法寺 24 旧高谷銀行本店
- 25 旧制木造中学校講堂 26 木作御飯屋・代官所跡 27 三新田神社 28 旧津島家住宅 (斜陽館)
- 29 商都五所川原歴史館「布嘉屋」 30 日平山家住宅 31 楠家住宅
- 32 迎堰大溜池 (津軽富士見湖) 33 深味八幡宮 34 板柳町立郷土資料館

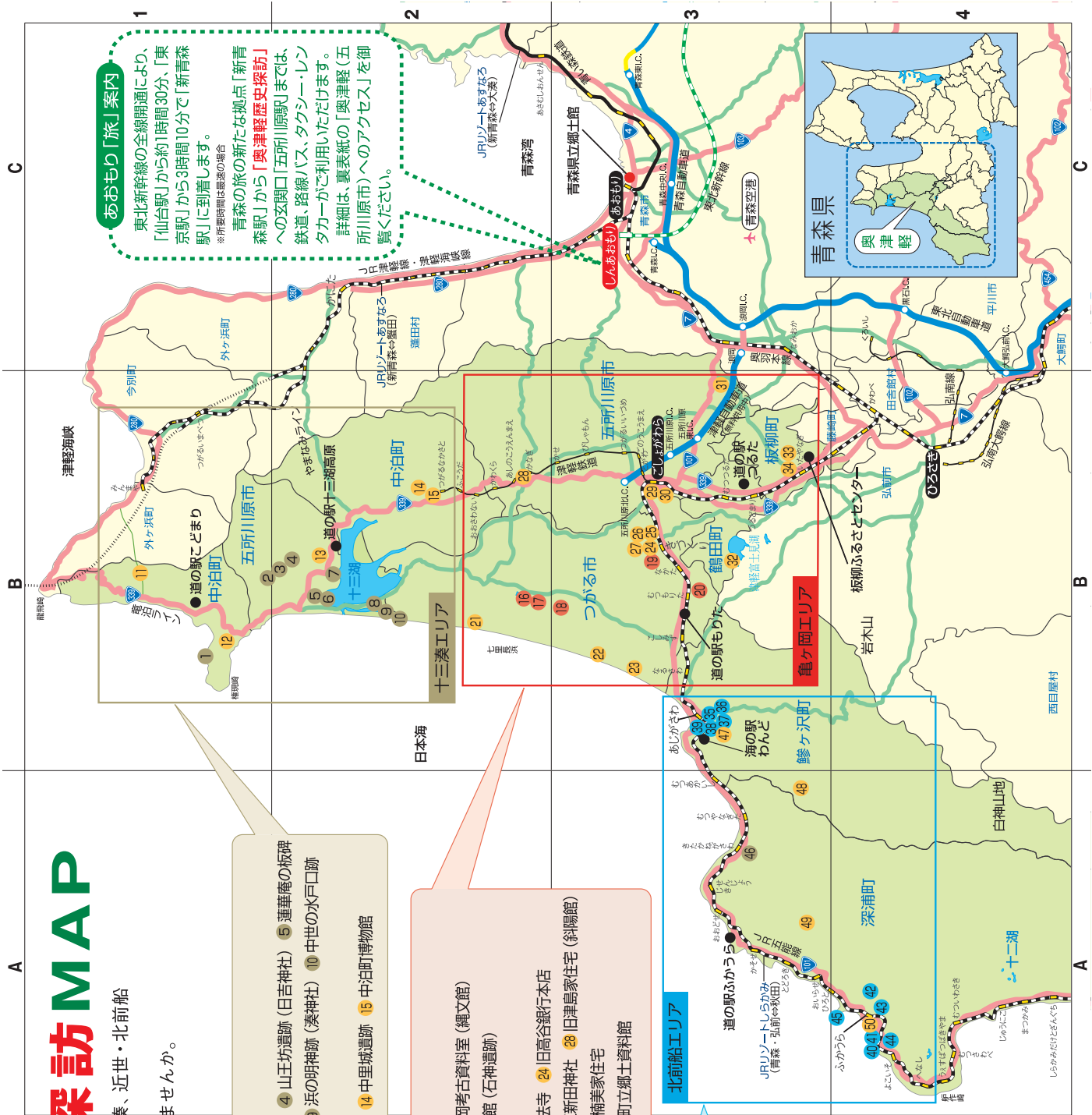
■近世・北前船 (P.24～)

- 35 白八幡宮 36 願行寺 37 来生寺
- 38 天童山公園 39 鯉ヶ沢町奉行所・御飯屋跡
- 40 春光山円覚寺 41 風待ち館
- 42 深浦町奉行所・御飯屋跡
- 43 神明宮トヨの名水 44 日和見山 45 行台崎
- 中世・十三湊
- 46 関の古碑群 (P.18)
- 47 高沢寺庭園 (龍廣園) 48 種里城跡
- 49 見入山観音堂
- 50 深浦町歴史民俗資料館・美術館

■あおもり「旅」案内

東北新幹線の全線開通により、「仙台駅」から約1時間30分、「東京駅」から3時間10分で「新青森駅」に到着します。
※所要時間は最速の場合

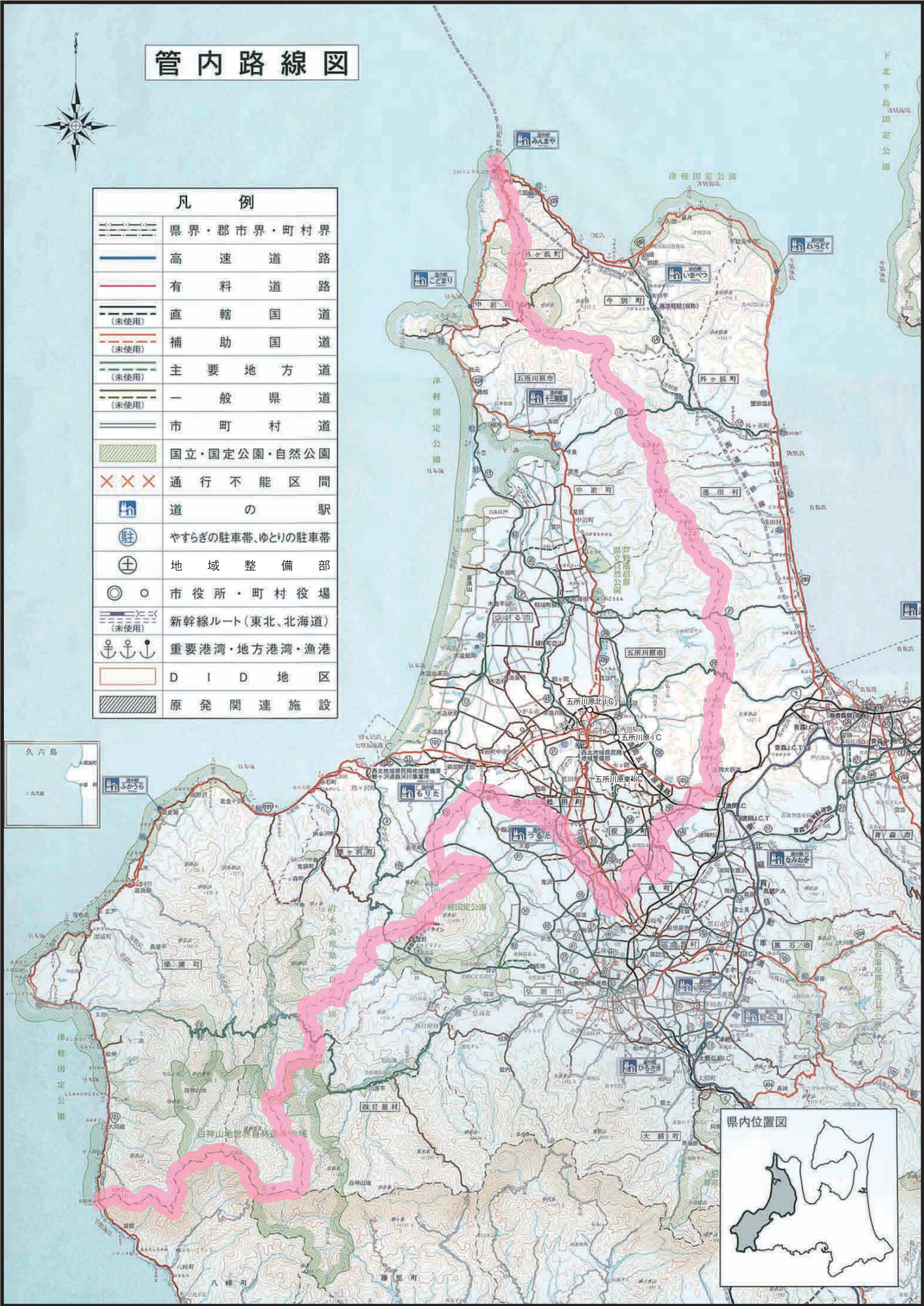
青森の旅の新たな拠点「新青森駅」から「奥津軽歴史探訪」への玄関口「五所川原駅」までは、鉄道、路線バス、タクシー・レンタカーがご利用いただけます。
詳細は、裏表紙の「奥津軽(五所川原市)へのアクセス」をご覧ください。



管内路線図



凡 例	
	県界・郡市界・町村界
	高 速 道 路
	有 料 道 路
	直 轄 国 道
	補 助 国 道
	主 要 地 方 道
	一 般 県 道
	市 町 村 道
	国 立・国 定 公 園・自 然 公 園
	通 行 不 能 区 間
	道 の 駅
	やすらぎの駐車帯、ゆとりの駐車帯
	地 域 整 備 部
	市 役 所・町 村 役 場
	新 幹 線 ルート (東 北、北 海 道)
	重 要 港 湾・地 方 港 湾・漁 港
	D I D 地 区
	原 発 関 連 施 設

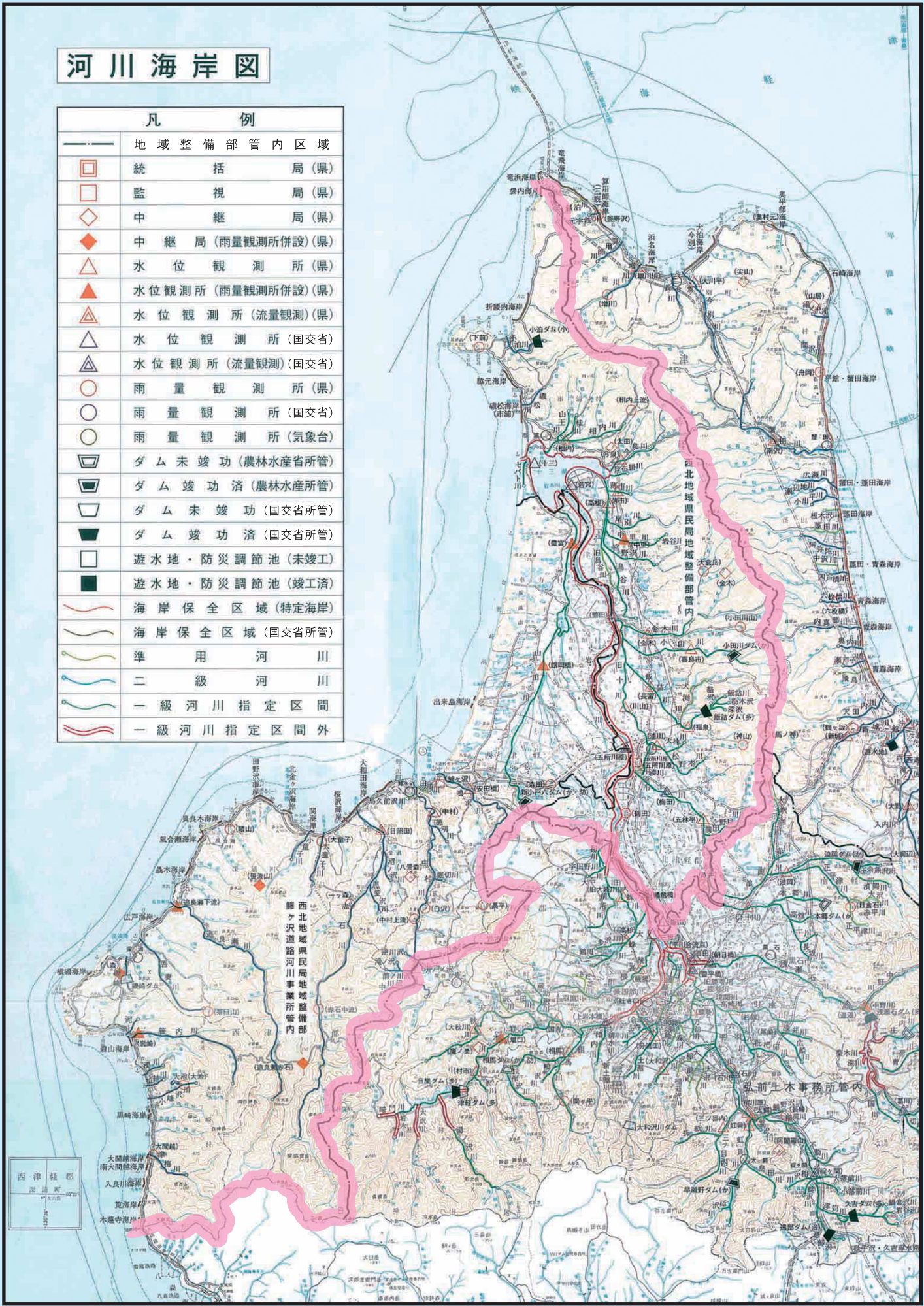


下 北 半 島 国 定 公 園

県内位置図

河川海岸図

凡 例	
—	地域整備部管内区域
□	統 括 局 (県)
□	監 視 局 (県)
◇	中 継 局 (県)
◆	中 継 局 (雨量観測所併設) (県)
△	水 位 観 測 所 (県)
▲	水 位 観 測 所 (雨量観測所併設) (県)
△	水 位 観 測 所 (流量観測) (県)
△	水 位 観 測 所 (国交省)
△	水 位 観 測 所 (流量観測) (国交省)
○	雨 量 観 測 所 (県)
○	雨 量 観 測 所 (国交省)
○	雨 量 観 測 所 (気象台)
▽	ダム未竣工 (農林水産省所管)
▽	ダム竣工済 (農林水産省所管)
▽	ダム未竣工 (国交省所管)
▽	ダム竣工済 (国交省所管)
□	遊水地・防災調節池 (未竣工)
■	遊水地・防災調節池 (竣工済)
—	海岸保全区域 (特定海岸)
—	海岸保全区域 (国交省所管)
—	準 用 河 川
—	二 級 河 川
—	一 級 河 川 指 定 区 間
—	一 級 河 川 指 定 区 間 外



西 津 經 郡
 津 野 町 30°21'
 139°45'

青森県西北地域県民局地域整備部

〒037-0046 青森県五所川原市栄町10
合同庁舎（代表）TEL 0173（34）2111
（直通）TEL 0173（35）2105
FAX 0173（35）9114

鱒ヶ沢道路河川事業所

〒038-2761
青森県西津軽郡鱒ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸384の37
TEL 0173（72）3135～3137 FAX 0173（72）3114